

2022年4月25日

報道関係各位

**百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ・Hib 混合ワクチン KD-370  
製造販売承認申請のお知らせ**

KMバイオロジクス株式会社（本社：熊本市北区、代表取締役社長：永里 敏秋、以下「KMバイオロジクス」）は、百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎（ポリオ）、およびヘモフィルスインフルエンザ菌 b 型（Hib）による感染症を予防する 5 種混合ワクチン KD-370（以下、「本ワクチン」）について、本日、厚生労働省に国内製造販売承認申請を行いましたのでお知らせします。

本ワクチンは、開発優先度の高いワクチンの開発要請（健感発 1216 第 1 号）に応じて、開発を進めてまいりました。本ワクチンの実用化により小児期における予防接種回数の削減に繋がり、お子様及びご家族の皆様の負担軽減が期待されます。

KMバイオロジクスは継続した製品開発・改良を通して、ワクチンで防ぐことのできる感染症からお子様を守ることで、健康で豊かな未来に貢献してまいります。

以上

**【本件に関するお問い合わせ先】**

KMバイオロジクス株式会社

経営企画部 広報課 TEL：096-344-1385

<5 種混合ワクチンで予防が期待される感染症>

百日せき	激しい咳をともなう病気で、乳幼児では呼吸ができなくなるために全身が青紫色になってしまうこと（チアノーゼ）やけいれんを起こすことがあります。また、窒息や肺炎等の合併症が致命的となることがあります。
ジフテリア	ジフテリア菌が出す毒素が心臓の筋肉や神経に作用することで、眼球や呼吸に必要な筋肉などの麻痺、心不全等を来たして、重篤になる場合や亡くなってしまう場合があります。
破傷風	破傷風菌が傷口に入り込んで感染し、菌が出す毒素によって、口が開き難い、顎が疲れるといった症状に始まり、歩行や排尿・排便の障害などを経て、息ができなくなって亡くなるなど、致命率の高い病気です。
急性灰白髄炎 (ポリオ)	ウイルスが人の口の中に入って、腸の中で増えることで感染します。ウイルスが脊髄の一部に入り込むと、主に手や足に麻痺があらわれ、その麻痺が一生残ることがあります。
Hib 感染症	Hib の感染による重篤な疾患として、肺炎、敗血症、髄膜炎、化膿性の関節炎などが挙げられ、亡くなることもあります。特に髄膜炎の場合は、難聴などの後遺症を残すことがあるといわれています。

< KMバイオロジクス株式会社について >

KMバイオロジクス（本社：熊本市北区）は、明治ホールディングス株式会社傘下の事業会社であり、国内で唯一「ヒト用ワクチン」「動物用ワクチン」「血漿分画製剤」「新生児マスキリーニング」の4事業を行っています。

「予防治療のプロフェッショナルとして生命科学の可能性に挑戦し続けることで、世界の人々の健康で豊かな未来に貢献します。」という企業理念を掲げています。KMバイオロジクスは、患者ご家族の皆様、医療関係者の皆様の気持ちに寄り添い、健康を支えることで、世界の人々が安心して暮らせる社会の実現を目指してまいります。

詳細については、<https://www.kmbiologics.com/>をご覧ください。